

研究開発課題事後評価結果

事業名（年度）	次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業 (平成28年度～令和2年度)
研究開発課題名	糖鎖利用による革新的創薬技術開発事業
分担研究開発課題名	多様なグライコプロテオームおよび捕捉分子作製技術開発とその 創薬への応用
代表機関名	学校法人順天堂 順天堂大学
研究開発代表者名	入村 達郎

【評価結果】

良い／総合的に計画した成果が得られた

【評価コメント】

世界に先駆けた全自動糖ペプチド合成装置の開発や、糖ペプチドを使った免疫による疾患特異的糖鎖抗体の作製技術の革新など、世界最先端の糖鎖科学技術を産学共同で動員させたことにより、研究開発が急速に展開し、創薬、疾患ターゲットとしての糖ペプチドの利用に有用な様々な手段を構築し、複数の糖鎖特異的抗体の作成に成功した。本技術で作成可能となった疾患特異的糖鎖抗体を用いてさらなる機序解析、創薬への展開が期待される。特異性の高いいくつかの疾患特異的糖鎖抗体の取得に成功したが、抗体を用いた機序解析による創薬意義・臨床意義の解明には、さらなる研究開発が必要である。GPCを用いた抗体産生技術の普遍化にも注力してもらいたい。糖鎖創薬の意義とその成果を、産業界、特に国内製薬業界に理解を深めることが期待される。

以上